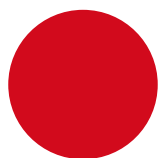




「日本遺産」は地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定するもので、江差町は、2017年に北海道で初めて認定されました。



JAPAN HERITAGE

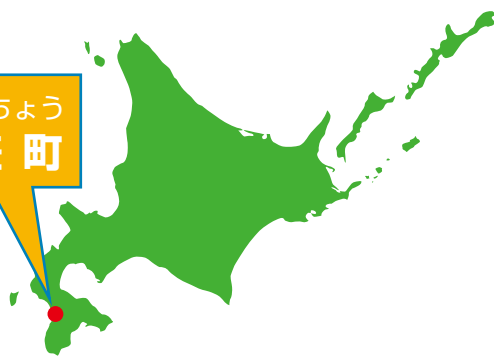
日本遺産

北海道初の「日本遺産」認定

江差の五月は江戸にもない

— ニシンの繁栄が息づく町 —

えさしちょう
江差町



北海道江差町



「日本遺産」とは

「日本遺産」とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援する制度です。

この制度は、文化庁が2015年度から始め、2020年の東京オリンピック・パラリンピックまでに100件程度が認定される予定です。

江差町の「日本遺産」ストーリー

2017年4月28日、江差町が申請していた「江差の五月は江戸にもない ニシンの繁栄が息づく町」というタイトルのストーリーが「日本遺産」に認定されました。

2017年度は全国から79のストーリー申請があり、江差町を含む17のストーリーが認定されました。北海道では第1号の認定です。

認定されたストーリーのタイトルと概要は、次の通りです。

江差の五月は江戸にもない ニシンの繁栄が息づく町

江差の海岸線に沿った段丘の下側を通っている町並みの表通りには、切妻屋根の建物が建ち並び、暖簾・看板・壁にはその家ごとの屋号が掲げられている。緩やかに海側へ下っている地形にあわせて蔵が階段状に連なり、海と共に生きてきた地域であることがうかがえる。

この町並みは、江戸時代から明治時代にかけてのニシン漁とその加工品の交易によって形成されたもので、その様は「江差の五月は江戸にもない」と謳われるほどであった。

ニシンによる繁栄は、江戸時代から伝承されている文化とともに、今でもこの地域に色濃く連綿と息づいている。



ニシンによる繁栄が息づく江差の町並み



ニシンを用いた食文化

「日本遺産」のストーリーに関連する文化財

No.	文化財の名称	ストーリーの中の位置づけ
1	江差の町並み	ニシン交易を担った商家が、屋号を掲げて建ち並ぶ。
2	旧中村家住宅	近江商人が建てた商家。若狭瓦が葺かれている。
3	江差姥神町横山家	能登商人が江差に移住して建てた商家。
4	旧檜山爾志郡役所庁舎	福井の笈谷石が土台に使われ、能登瓦が葺かれている。
5	かもめ島	天然の防波堤となり港を守った。
6	折居伝説とその資料	江差にニシンをもたらしした伝説とその資料。
7	瓶子岩	江差にニシンをもたらしした伝説にまつわる岩。
8	姥神大神宮	江差にニシンをもたらしした伝説にまつわる神社。
9	北前船係船柱及び同跡	ニシン交易船が係船した跡。
10	厳島神社	ニシン交易を担った人々が航海安全を祈願した神社。
11	厳島神社の石鳥居	加賀国の船頭たちが寄進した石鳥居。
12	厳島神社の手水石	ニシン交易を担った人々が寄進した手水石。
13	かもめ島の階段跡	厳島神社へ参拝するための階段跡。
14	江差商人の宴席跡	ニシン交易で潤った商人が宴を行っていた場所。
15	ニシン漁と交易の古文書	ニシン漁と交易について記録した古文書資料。
16	江差沖揚音頭	ニシン漁の様を伝える民俗芸能。
17	江差鮫踊り	ニシン漁の邪魔となるため駆除された鮫の霊を慰める民俗芸能。
18	江差追分	ニシン交易を担った人々によって伝えられた民謡。
19	江差追分踊り	江差追分に合わせて踊られる芸能。
20	江差三下り	ニシン交易を担った人々によって伝えられた民謡。
21	姥神大神宮渡御祭	江戸時代から伝わる姥神大神宮の祭礼。
22	江差姥神大神宮祭礼山車松 寶丸及び附属品	姥神大神宮渡御祭に出される山車。
23	江差姥神大神宮祭礼山車神 功山人形及び附属品	姥神大神宮渡御祭に出される山車。
24	江差餅つき囃子	商家が年末に行っていた餅つきの様を伝える民俗芸能。
25	三平汁	ニシンを材料にした料理。
26	ニシン漬	ニシンを材料にした料理。

＜参考＞ 表紙写真

(左上から)

- 1 かもめ島
- 2 江差・姥神大神宮渡御祭
- 3 江差追分
- 4 江差餅つき囃子
- 5 折居伝説
- 6 旧檜山爾志郡役所

(右上から)

- 1 姥神大神宮
- 2 いにしえ街道
- 3 ニシン漬
- 4 横山家
- 5 江差沖揚げ音頭
- 6 瓶子岩(へいしいわ)

えさしちょう 江差町の観光情報

江差町には、日本遺産を体感できる施設などがいくつもあるほか、幕末の浪漫あふれる世界も広がっており、特別な時間を過ごすことができます。

また、北海道で最古の祭りと言われる「江差・姥神大神宮渡御祭」をはじめ、民謡の王様と言われる「江差追分おいわけ」の全国大会といった豪華イベントもあります。

さらに、2018年4月、「バーチャルリアリティ (VR)」が完成し、いにしえの空間を楽しみながら町歩きができます。お持ちのスマートフォンでご利用ください。

江差町の主な観光スポット

◆江差いにしえ街道

日本遺産の構成文化財でもある旧中村家住宅や横山家など、かつて隆盛を極めた建造物が建ち並ぶ街道。当時の江差にタイムスリップし、ゆったり町歩きを楽しむことができます。



◆かもめ島

夕陽のスポットにもなっている、かもめのような形をした江差町のシンボリックな島。瓶子岩や千畳敷、徳川幕府砲台跡などの見所が多くあり、義経や弁慶にまつわる伝説なども残っています。



◆江差追分会館・山車会館



追分会館では、本場の唄や歴史など江差追分のすべてを体感できます。また、山車会館では、山車の展示を行っているほか、「江差・姥神大神宮渡御祭」の迫力ある映像を見ることができます。



◆開陽丸記念館



幕末に榎本武揚・土方歳三らを乗せ活躍した幕府の軍艦。江差沖で座礁沈没したが、実物大で復元された船内には、引き揚げられた遺物も多数展示しており、幕末ロマンを堪能できます。

江差町の三大祭り

江差かもめ島まつり
(7月第1土曜・日曜)



江差・姥神大神宮渡御祭
(8月9日～11日)



江差追分全国大会
(9月第3金曜・土曜・日曜)



江差町までのアクセス



飛行機

東京(羽田)⇒ 函館空港 約1時間20分
大阪(関西)⇒ 函館空港 約1時間35分



鉄道(新幹線)

仙台駅⇒ 木古内駅 約2時間30分
東京駅⇒ 木古内駅 約4時間



車(レンタカー)

函館空港⇔ 江差 約2時間(約80km)
木古内駅⇔ 江差 約1時間15分(約50km)

お問合せ先

江差町役場 追分観光課
TEL:0139-52-6716(直通)
FAX:0139-52-5666

江差町 日本遺産

検索

